

The effect of ownership on the risk taking of Chinese firms

華東師範大学 袁媛
(公財) 日本海事センター 松田琢磨
学習院大学 乾友彦

この研究では、銀行や中央政府が中国企業のリスクテイクに与える影響を検証した。中国においても経営者のリスク回避が要因となって、企業のリスクテイク活動が阻害されているとみられ、企業のパフォーマンスの散らばりが国際的にみても小さい。そのようななかで中国の銀行や中央政府による企業の意思決定に対する影響を見るために、銀行と中央企業の持ち分に着目して企業のリスクテイクに対して与える影響を検証した。

分析の結果、銀行の持ち株比率が高まることで企業のリスクテイク行動を促進する効果があること、中央企業が持ち分を増やすことは企業のリスクテイク行動を小さくする傾向があることが示された。前者については、銀行による株式保有を通じて債権者と株主の対立を緩和されている証左であり、後者は中央企業による株式保有が、中央政府の方針もしくは中央企業の経営者のキャリアコンサーンに基づくリスク回避であると考えられる。